

災禍の歴史に光 神大で17日講演

神奈川 歴史上の地

震や津波を主

なテーマとした特別講演会
が17日、横浜市神奈川区六
角橋の神奈川大横浜キャン
パスで開かれる。同大は東
日本大震災以降、被災地で
の調査研究や支援活動に力
を入れてきたが、新たな試

みとして災禍の歴史にも光
を当て、大規模災害に対す
る備えを考える。

講師は、元東大地震研究
所准教授で現在は深田地質
研究所客員研究員の都司嘉
宣さん。

都司さんは各地に残る古
文書や寺の過去帳などを手
掛かりに過去に起きた地震
の実態に迫る研究を重ね、
1855年の安政江戸地震
や1703年の元禄関東地

震、南海トラフで繰り返し
発生してきた巨大地震など
の被害や津波の状況に詳し
い。講演では、これまでの
研究成果を踏まえつつ、備

えのありようを探る。
午後1時半から。無料で
要申し込み。問い合わせは、
同大広報事業課 ☎045
(481) 5661。